



輝 望

令和4年2月28日 No.458
中野区立北原小学校

「ほめる」とは…「認める」こと。

一歩前に踏み出すための「勇気付け」の言葉がけを！

校長 福山 広伸

子どもは、ほめられるととっても嬉しそうな顔をします。時には「別に～」と何でもないような態度を返してきますが、そのくせ満更でもない表情を浮かべているものです。

勉強にしろ、運動にしろ、係や委員会の活動にしろ、何につけ行動をおこせば、そこには必ず『結果』がでます。その結果は、「良い結果＝成功」もあれば、時には「よくない結果＝失敗」となることもあるでしょう。私たち大人は、たとえ期待した結果が出なかったとしても、やる気を失う事無く、それを一つの経験として次の活動に生かしていくような子どもになってほしいと願っているはずです。また、良い結果が得られたときには、そこで終わりではなく、成功経験を他の場面にも生かして、更により良いものを求めていく活動意欲の高揚にも期待しています。

子どもが自身の取り組みにより「良い結果」を得た場合には、きっと大きな喜びを感じているはずです。その喜びが、自身の活動への満足感と成就感からくる充実の喜びであれば、必ずやその子は、これからもその喜びを求めて更なる活動意欲を高めていくことでしょう。見守る側の我々大人は、そんな時に「おほめの言葉」をかけてあげたくくなります。しかし、それが「ほめられたこと＝1番の喜び」となってしまうと、せっかくの達成感・成就感が薄らぎ、「ほめられたことへの喜び」に置き換えられ、今後は「ほめられることを目的」に活動していくようになってしまうかもしれません。そうすると、親や先生の見ている所では頑張るが、誰も見ていない場面やほめられることが期待できない場合には、積極的な取り組みができなくなる…ということが意外に多くあるものです。取り組みで得た結果は、本人自身のものです。その結果にだけ目を向けた言葉がけは、本人が手に入れた「結果の意味」を曲げてしまうこともあるのです。

そこで、私は常日頃から自分自身で注意していることがあります。

『結果に対しての安易なほめ言葉には気をつける!』、また、『期待するレベルに到らなかった場合でも、その結果に対して、決してしかるべきではない!』ということです。自分の意志で行動したことが、時に「失敗」の結果となった場合に、それが許されないこと・責められ認められないものと認識してしまった場合、その後には自ら進んで行動する勇気を失ってしまうことにもなりかねません。自身の意志で決定し取り組んだことやその過程では、その時々子ども自身の心情や判断を私たち大人がしっかりと受け止め、認めてあげることこそが大切であり、次の活動に向かうための希望と勇気を持たせて背中を少し押してあげるような言葉がけをしてあげたいと思っています。

《 例えば… 》

×「よくできたね!」→○「毎日欠かさず取り組んでたからだよね」

→○「最後までよく努力してたからね!」

×「もっとがんばらないとダメだよ」→○「どうしたら、もっと良くなるか考えようね」

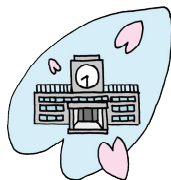
(お手伝いをした子に) ×「えらいね!」→○「ありがとう!」「助かったよ、うれしい」

言葉には大きな力があります。ちょっとした言葉のニュアンスの違いが、「活動への大きな勇気づけ」になったり、「普遍的な活動意欲を育む」ことへの一助になったりすることもあります。難しいことでもあります。教育に携わる者として「言葉」を大切にしていきたいと思っています。

本年度も残すところあと一ヶ月! 北原小教職員一同で力を合わせて、子どもたち一人ひとりの一歩前進への歩みをしっかり後押しできる1日1日にしていきます。



3月の予定



日	曜	行事予定
1	火	特別時程 鼓笛発表 保護者会（4・5・6年）
2	水	5時間授業 ユニセフ募金
3	木	保護者会（1・2・3年） ユニセフ募金
4	金	6年生を送る会 ユニセフ募金
5	土	
6	日	
7	月	放送朝会
8	火	
9	水	4時間授業
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	放送朝会
15	火	
16	水	5時間授業
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	放送朝会
23	水	卒業式予行（5・6年） 給食最終日
24	木	卒業式 10:00～（1～4年：休業日）
25	金	修了式（6年：休業日）
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

予告なしの避難訓練を行います。

※コロナ感染状況により予定が変更になる場合があります。

3月の生活目標

1年間のまとめをしっかりとやろう

いよいよ今年度の最終月となりました。子どもたちは、この1年間で学習面も生活面も大きく成長したと感じています。4月からは6年生は中学校へ進学。その他の学年も1つ学年が進級することになります。

3月は総まとめの時期です。あいさつや廊下の歩き方、清掃、当番活動など、学校生活のきまりを守り、当たり前のことを当たり前にできているか振り返って欲しいです。そして、立派な姿で卒業や修了を迎えることを願っています。今月もよろしくお願いいたします。

6年生を送る会

今年度はオンラインで各教室をつなぎ、リアルタイムで開催します。計画委員会の4・5年生は、司会の仕事を担当します。

1年生は入学からお世話をしてもらい、立派に成長することができました。2年生から4年生は、たてわり班で楽しい活動してもらい、「6年生ってすごいなあ」と思うことでしょう。

5年生は、6年生の背中を見て、追いかけてきたと思います。

そして6年生は、これまで過ごしてきた北原小学校や後輩に、気持ちを伝える機会となります。このように、異学年交流を通して、6年生は下学年のみんなへ「思いやり」の気持ちをもつことを目標に、1年生から5年生は、6年生への「あこがれ」の気持ちをはぐくむ会にしていきたいと考えています。

研究のまとめ

今年度北原小学校では、「基本的な読解力の向上」を目標に、国語科の学習の研究を取り組んできました。子どもたちの力を伸ばすために、行ってきた取り組みは、大きく分けて二つあります。

一つ目は、ワークシートや全文シートの活用です。全文シートとは、教科書の本文（一部）を一枚のプリントにしたものです。文章の構成や筆者の考えを捉えやすくするためのツールとして活用しました。

二つ目は、読み方（音読など）の工夫です。流し読みや読み飛ばしを防ぎ、しっかりと内容を読み取ることができるよう、実践してきました。

来年度も、引き続き国語科を研究する予定です。今年の研究を生かし、さらに子どもたちの力を伸ばせるよう研究を進めていきます。